

自己点検・評価について

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学内からの視点	
プログラムの履修・修得状況	データサイエンス・AI応用基礎プログラムの構成科目のうち、数理・情報科学課程は2科目、知能情報メディア課程は3科目、電子情報通信課程は1科目、機械工学・ロボティクス課程は3科目、応用化学課程は1科目が、卒業要件の必修科目のため、令和4年度の履修率は71%と非常に高い。初年度でこれだけの履修率となっているため、今後もより一層の履修率の向上が期待できる。
学修成果	授業アンケートの結果を通して、学生の履修動機や学修成果等を精査し、今後の改善に努める。また、科目毎の平均点等を比較し、学生の得手不得手や不得意分野を分析し、講義内容の検討を行いたい。
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	全体的に出席率および合格率が80%以上の科目が多く、学生の履修態度も良い・非常に良いとの結果が出ている。今後も継続してアンケート調査を行い、学生の理解度の把握に努める。
学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度	上記の回答結果から、満足度が高いため、後輩等への推奨は期待できる。卒業要件となる科目も含まれているため、卒業要件を満たすと同時にデータサイエンス・AI応用基礎プログラムを修了できることも、推奨要因の一つと考えられる。
全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	令和4年度は履修率71%と非常に高い結果となった。これはデータサイエンス・AI応用基礎プログラムの構成科目に、卒業要件の必修科目や選択必修科目が含まれていることも影響している。今後も引き続き周知を行い、履修者を増やしていく。

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
<p data-bbox="233 240 573 278">学外からの視点</p> <div data-bbox="268 278 558 730"> <p data-bbox="268 463 558 557">教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価</p> </div> <div data-bbox="268 730 558 1175"> <p data-bbox="268 914 558 1009">産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見</p> </div>	<p data-bbox="573 278 1894 409">データサイエンス・AI応用基礎プログラムは、2022年度から開始したため、本プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価を得るまでには至っていないが、今後、キャリアセンターが実施している卒業時進路データ、卒業後1年目および卒業後3年目を対象とした卒業生アンケートをもとにプログラム修了生の進路先や活躍状況を把握する予定である。</p> <p data-bbox="573 730 1894 831">民間企業等でデータ分析や解析等に関わってきた経験を有するデータサイエンス・AI応用基礎プログラム科目担当教員を含めて、教育プログラム内容のや講義の進め方について意見収集をしていく。また、共同研究や産学連携等の機会を活用し、産業界からの意見も取り入れ、今後の講義内容見直しの参考にする。</p>
<p data-bbox="233 1359 558 1460">数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること</p>	<p data-bbox="573 1175 1894 1276">数理・データサイエンス・AIの歴史から、現実社会でどのように活用されているかを理解してもらい、データサイエンスを学ぶ楽しさを伝えている。</p> <p data-bbox="573 1234 1539 1276">また、STEAMコモンズを新たに学内に整備し、学生が自由に学べる機会を設けている。</p>
<p data-bbox="233 1804 558 1905">内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること</p>	<p data-bbox="573 1620 1894 1721">授業アンケートを実施しており、その結果を分析することにより、講義内容の見直しを行っている。</p> <p data-bbox="573 1679 1894 1721">また、授業サポート体制として、ティーチングアシスタントやチューター制度を整え、学生へのサポートをマンツーマンで行っている。</p>